

相活動の活性化

他の お寺との 繋がり

本音を 語る・聞く・ 知る

> 私の スキル アップ

おかざり・ おつとめに ついて 門徒推進員養成連続研修習

M

はじめてみました!

けん



れんけんを通じて、一新たな自分に気づきましょう

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 伝道本部 TEL(075) 871-5181 FAX (075) 351-1372 門從推進員養成連続研修司

れん

はじめてみませんか?

1

「連研」長期休止組 未開催組の 皆さまへ

かんけん

お寺の将来

新しいこと はイヤ

不是

楽しを、

ものしり 同行

生き方

かしい 過疎

れんけんで、

悩みを語り合いましょう一

僧侶のため

法務、お寺の維持、お聴聞・・・、日々抱いている悩みをなかなか相談する機会がない、相手がいない、そんな悩みはありませんか? れんけんは、組内僧侶と門信徒がともに連続して取り組むことができる研修会です。

参加者全員が語り聞きあうことで、時には、日常の悩みも語り合えることもあります。

門信徒の 本音を聴く

- ・同じ苦悩を抱えるなかま
- ・本音で語り合える関係性



とのつながり ・他寺院の受講者や、

門徒推進員との交流 ・寺院活動の拡がりに

私のスキルアップ

組活動の活性化

組内僧侶がともに学ぶ場、僧侶自身のスキルアップに



他寺院門信徒



- ・課題に向き合う
- ・互いの意見の共通点や、

違いを知る









門信徒のため

れんけんは、講義形式だけでなく、「話し合い法座」も行われます。

僧侶が一方的にお話しするご法話と違い、お互いの立場を超えて意見を「聞き合う」ことによって、 簡単には答えの出ない人生の苦悩や思いを共感できる場がれんけんであり、話し合い法座です。

門信徒

所属寺以外との関わり



組内各寺院を会場にすることによって、所属寺以外の本堂にお参りす るご縁となります。所属寺以外のお寺や僧侶と関わりを持っていただくこ とによって、れんけん以外のご法座や、活動へご参加いただくご縁ともな ります。

各回のれんけんでお勤めをすることによって、正しい勤行や仏事作 法(合掌・礼拝・お焼香など)を学び、できるようになることも、門信徒 のよろこびとなっていきます。

本当の「なかま」とのであい



日常抱えている悩みや思いを本音で語りあい、聴き合い、向き合うこと によって、「お付き合い」の関係でなく、ともに歩むなかまとなっていくこ とのできるのが、れんけんです。

お寺のため

れんけんは、ご参加された方の声を大切に受けて止めていく場です。 テーマに即したお話以外に、よりよいお寺のあり方を聞くことができます。 住職(僧侶)だけでは気づけなかった声に、これまでのお寺の悩みを 門信徒と共有し、み教えをともに聞く空間を再確認できます。



お寺

お寺は法要、儀式の空間



悩みを共感し、

多くの人が訪れる

より使いやすく、 おみのりにであえる場 お参りしやすい施設を 考えるきっかけに

他寺院のご門徒や 門徒推進員とのであい



ご法座へのお参り、 お寺の活動に参画

参加者の方からは、 てんな声が聞こえてきます

自分の生きる道が わかったような気がする 同じ気持ちの方が いたことによって、楽になれた

お仏壇の正しいお飾りが 納得できました

れんけんは、

何のため?

誰のため?

ご親教「念仏者の生き方」で専如ご門主は、様ざまな社会の課題に関わる時、ともすれば凡夫に安住し傍観者になりがちな私たちに、 少しでも仏さまのお心にかなう生き方を目指すことが念仏者の生き方だと明確にお示しくださいました。

ご親教「念仏者の生き方」とれんけん(門徒推進員養成連続研修会)

れんけんがめざすのは僧侶と門信徒がともに「現実の私と社会の問題を法に問い、聞き、語り合う」ことで、互いに念仏者としての自覚 にめざめ、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を推進していくことです。それは社会の諸課題に無関心ではいられない、仏さまのお こころにかなう生き方をめざすことでもあります。れんけんを通してご親教「念仏者の生き方」の学びを深め、ともに歩みを進めましょう。

死んだらどうなるのか 不安で仕方なかったが、 教えを聞けて、 心が少し楽になった

お浄土と天国の違いが わかりました



「浄土真宗のみ教えに生きる」 ことの意味がわかりました

> お寺や僧侶が 親しみやすくなりました